

「B型肝炎を学ぼう～B型肝炎再活性化防止への検査室の対応を考える～」に参加して

公立刈田総合病院 検査部検査科
伊東 正人

B型肝炎の再活性化が注目されているが、今回はその再活性化に対してどう防ぐか、どのように対応していくべきかを学ぶことができた研修会であり、B型肝炎の基本となる部分から、再活性化に至るまでの過程やリスクなど、非常に勉強になり興味深いものでした。再活性化に関しては、耳にしていたものの、浅い知識でしかなかったため、今回の研修会に参加したことにより、B型肝炎についての知識が深まったように思います。

事例を交えての講演もあり、検査室側から「B型肝炎活性化」について積極的に啓発していくこと、各部門と協力して防止策に努めることなど、協力なくして再活性化を防ぐことは出来ないと痛感させられ、院内システム作りの重要性も知りました。すぐにできるような簡単なことではないが、防止策を検討することは、患者様にとっても病院にとっても重要な事であり、当院でも早急な取り組みが必要だということを感じた研修会でした。

今回の研修会の内容を含めながら、検査室からいろいろな情報を発信できる体制づくりが出来ていければと考えます。